

2017年11月17日 第3222回例会

ガバナー公式訪問例会 於： 横須賀商工会議所

- <点鐘・開会> 12:30 小林 会長
<斉 唱> 「それこそロータリー」
<ゲスト紹介> *国際ロータリー第2780地区ガバナー 大谷 新一郎 様
*国際ロータリー第2780地区第1グループAG 宮本 清志 様
*通訳 高橋 英子 様
<会長報告> *新会員入会 臼井 健 会員
*第1グループ三役会 報告
<幹事報告> *週報・横須賀西RCより受領
<出席報告> *出席委員会 植田委員長より11月17日の
出席報告



会員数	出席対象者数	出席数	欠席数	メックアップ数	出席率
114名	98名	66名	32名	10名	76.77%

<ニコニコ報告>

- ・国際ロータリー第2780地区ガバナー大谷新一郎様
本日はガバナー公式訪問に参りました。よろしくお願いいたします。
- ・第1グループガバナー補佐宮本清志様 本日はガバナーのお供で参りました。
- ・三 役 国際ロータリー第2780地区ガバナー大谷新一郎様、第1グループガバナー補佐宮本清志様、ようこそお越し下さいました。本日はよろしくお願いいたします。
- ・丸山、猿丸、上林、福西、加藤 隼、瀬戸、加藤 隼、高橋 隼、井 莉、勝間、江沢、八巻、植田、田邊、佐久間、薦野、徳永、長尾、山口、吉田 隼、岩瀬、長澤、秋本、野坂、鈴木 隼、大竹、鈴木 隼、藤村、若麻績、北村、小沢、高橋 隼、物井、新倉 隼、谷、鹿島 各会員
国際ロータリー第2780地区ガバナー大谷新一郎様、第1グループガバナー補佐宮本清志様、ようこそお越し下さいました。本日の卓話よろしくお願いいたします。
- ・三 役 臼井 健会員、入会おめでとうございます。ロータリーライフを楽しんでください。
- ・角井、井 莉、勝間、澤田、鈴木 隼、吉田 隼、池上、長坂、高橋 隼、小林 (-)、福西 各会員
臼井健会員、入会おめでとうございます。ロータリーライフを楽しんで下さい。
- ・臼井 会員 本日入会させて頂きます。皆様どうぞよろしくお願いいたします。
- ・1番テーブル岡マスター 第1テーブルの皆様、昨日は皆様のスピーチにより楽しく、有意義な一時を過ごすことが出来ました。小沢会員には大変お世話になり有難うございました。
- ・1番テーブル薦野サブマスター 1番テーブルミーティングを甲羅本店で開催しました。楽しい会合でした。小林会長お忙しい中出席ありがとうございました。小沢会員美味しい食事とチーズケーキご馳走様でした。前川会員オリーブ有難うございました。
- ・高橋 隼、吉田 隼、門井、前川 各会員 昨日開催されました1番テーブルミーティングでは岡TM、薦野SMに大変お世話になりました。小沢会員にはお土産も頂き、有意義な時間を過ごせました。
- ・2番テーブル渡辺 隼 マスター、大竹サブマスター 11月10日、2番テーブルミーティングを「あら井」にて開催いたしました。多数のご参加を頂き楽しい会合でした。小林会長、岡田副会長お忙しい中ご出席有難うございました。高橋隆一会員のお酒の差入れ、高橋仁子会員美味しいお料理有難うございました。
- ・澤田、Enora、長尾、長澤、杉山 各会員

先週金曜日に2番テーブルミーティングが開催されました。渡辺重博TM、大竹サブマスターご設営ありがとうございました。あら井のお料理を満喫し、TKGの極意も学びました。

- ・7番テーブル佐久間マスター 先日の7番テーブルミーティングではお太幸にて上原公一会員をはじめメンバーの皆様と大変楽しい時間を過ごすことができ、ありがとうございました。
- ・瀬戸、越川、波島 各会員 一昨日開催された7番テーブルミーティングでは佐久間TM、新倉良是Sマスターに大変お骨折り頂きありがとうございました。上原会員おいしいお料理ありがとうございました。
- ・山口 会員 一昨日の7番テーブルミーティング所用の為欠席させて頂きました。申し訳ありませんでした。
- ・佐久間 会員 谷先生と江沢先生に写真を頂いて
- ・勝見、越川、渡邊、田邊、鈴木、北村、澤田、谷 各会員 写真をいただいて
- ・野坂、飯塚 両会員 三宅さん、勤続20年と2日、お疲れ様です。我儘な会員の要望を的確に処理してくださりありがとうございます。これからもご自愛の上、クラブ発展の為よろしくお祈りします。

<卓 話> 「ガバナー公式訪問」

2017-2018年度 国際ロータリー第2780地区
ガバナー 大谷 新一郎 様

皆さん、こんにちは。大谷でございます。本日は、大変貴重な卓話のお時間をいただき、心より感謝申し上げます。

私が本日ガバナーとして最初に行う仕事は、RI会長であるイアンH. S. ライズリーさん（以後、会長）のご紹介であります。「ロータリーの友」などに毎回出ておりますので、皆さんもお顔はご存知だと思いますが、改めてご紹介させていただきます。

会長の出身国はオーストラリアで、職業は公認会計士です。会長と私がお会いしたのは、今年の1月末にサンディエゴで開催された国際協議会です。ウェルカムパーティーで我々ガバナーがスタンディングオベーションでお迎えする中、会長が奥様と手をつないで、大変にこやかな表情で壇上に上がりました。その時の私の印象は、非常に温かく広い心の持ち主であると感じました。ちなみに奥様もガバナー経験者であります。そしてお二人が出て来られると、すぐに後ろの大ビジョンに本年度のテーマが映し出されました。このテーマについては、会長をはじめ皆さんが何回もお話されている言葉だと思いますが、「Rotary: Making a Difference」です。

日本語訳は「ロータリー：変化をもたらす」となります。私はこの「ロータリー」と「変化をもたらす」の間にある「:」（コロン）を日本語に読み替えて変化というキーワードを理解しようと思っております。それが「ロータリーは変化をもたらす」或いは「ロータリーに変化をもたらす」という言葉であり、この2つにより会長は変化というキーワードについて我々にお教えいただいているのだと考えております。

私は日本に帰って来てすぐに地区の方針6項目を決めさせていただきました。内容は、増強を最重点にする事、戦略計画を実行する事、財団のご理解をいただく事、RI会長賞にチャレンジする事、マイロータリーの登録率を向上する事、そして最後に柔軟性について正しい理解をする事です。順番に説明させていただきたいと思っております。

最初は増強についてです。これは避けては通れないロータリーの大事な柱であると思っております。歴代のガバナーもこの数年ずっと増強についてお話をされていましたが、私はクラブの活性化を図るには、やはり仲間



が多ければ多いほど良いと感じています。その中で女性会員と若い会員の増強を軸とし、再重点項目として取り組んでいきたいと考えております。

ここで世界と日本、そして地区におけるロータリー会員数についてご紹介したいと思います。世界には現在120万人を超える会員の方がいらっしゃいます。日本は2008年～2009年において91,600人弱で、その後4年連続で減少しましたが、現在は少しずつ回復しております。最新の「ロータリーの友」によると89,800人程度まで伸びており、あと少しで90,000人に到達すると思います。そして地区はどうかといいますと、現在2,400人に向かって少しずつ増加している状況であります。このグラフの中で皆さんにご覧いただきたいのは、ピンクで表されている女性の会員数です。2008年～2009年の女性会員数は153人でした。直近では204人であり、9年間で51人の女性会員が増えた事になります。しかし、私は9年間でたった51人しか増えていないのかと考えさせられました。先程もお話しましたが、私はサンディエゴの国際協議会で世界中のガバナーとともに会長からトレーニーを受けました。その時、539地区のガバナーの方と名刺交換をしたのですが、そのうち108名は女性ガバナーという事実を知り大変驚きました。私の所属する2780地区では、2017年1月の報告時点で女性会員比率が9.2%であります。実はこれが日本の34地区の中で第2位なのです。ちなみに世界の平均は20%で5人に1人が女性会員です。その後2780地区では女性会員の増強に力を入れ、2017年10月末で女性会員の割合が10%に到達しました。今後も女性を含めて会員の増強に励んでいきたいと考えております。

次に戦略計画の実行についてご説明します。私は戦略計画を実行していくにあたり、公共イメージと認知度の向上を重点に行っていきたくと思っています。今年度は特にメディアとの連携を確立したいと考えており、公共イメージ委員長と何度も打ち合わせをしてメディアの方々との情報交換を行う懇親会を開催し、16社の方にお集まりいただきました。第2回は来年の3月か4月に開催予定であり、是非30社まで増やしたいと考えております。いずれも地域に密着したメディアの方々であります。我々が行っている奉仕活動は、やはり地域の方々のご理解とご協力をいただきながら進め、認識していただく事が公共イメージであると考えております。それから長期計画目標と実行（10年後のイメージ）についてですが、この項目に会長が一番時間をかけて私どもガバナーにトレーニーをして下さいました。その事からも会長は、この短い言葉を非常に重要視しているのだと分かりました。自分達のクラブをより活性化し、魅力あるクラブ作りをする為に皆さんが頭をひねって3年後、5年後の長期計画を作っていると思いますが、会長は自分達のクラブの10年後をイメージしてしっかり作りなさいとおっしゃっている訳です。トレーニーの中でロータリーコーディネーターの先生方は、最初に柔軟性のあるイメージトレーニングをさせました。私に出された命題は、10年後の洗濯機についてどの様にイメージするのかというものでした。私は、洗濯物がたたまれた状態が出てくる洗濯機が出来るかと回答しました。日本に帰ってからその事を忘れていたのですが、8月30日の日本経済新聞の経済欄にパナソニックが洗濯物がたたまれて出てくる洗濯機をドイツの展示会に出品したという記事が掲載されておりました。私はその時は「やった」と思いましたが、それは間違いでした。パナソニックではおそらく2年か3年で商品化するでしょう。10年後のイメージという命題に対して、私はたかだか4年か5年後のイメージしか無かった訳です。ですから、この10年後のイメージというものがいかに難しいかが良く分かります。しかし、10年後の自分達のクラブについてしっかりイメージする事は、絶対に必要だと私は思います。

次に財団についてです。年次寄付は1人200ドル以上、ポリオ寄付40ドル以上、そして恒久基金寄付は1クラブ1,000ドル以上をお願いします。ここでは是非頭を切り替えていただきたいのですが、財団への寄付は3年後に間違いなく全額返ってきます。そうすると3年後に返ってきたお金を地区補助金やグローバル補助金、或いは奉仕活動の資金として使う訳ですから、財団への寄付はこうした奉仕活動をする為に3年間貯金をしているのだと考えていただき、皆さんに寄付をお願いしたいと思います。その他に米山記念奨学会寄付は1人20,000円以上をお願いしております。

先程も紹介しましたが、財団への寄付の中にはポリオ寄付があります。ポリオに関しては数字を元に説明させていただきます。20年前には世界中で約35万人いたポリオ患者が、2016年には37人まで減りました。そして今年の5月24日時点では5人となり、10月25日の最新の財団ニュースでは12人に増えましたが、現在の人数まで減少した事は間違いなくロータリーの力によるものだと言って良いと思います。また、米山記念奨学会についても同じく寄付を募っております。こちらは学友の国際交流会が11月25日に佐久間委員長の指導の下で開催される予定となっております。非常に貴重な時間を過ごせる場となりますので、お時間のある方は是非ご参加をいただきたいと思います。

R I 会長賞についてお話しします。これはチャレンジです。3つの戦略的目標のうち、各4項目ずつをクリアすればR I 会長賞を受ける事が出来るというものです。これは達成する事よりも、チャレンジする事が一番大事であり、自分達のクラブをより良いものにする事に繋がりますので、積極的に取組んでいきたいと考えています。それからマイロータリーの登録率向上についてです。私がロータリーを引き継いだ時の登録率が18.3%でしたので、私は4人に1人の登録率にしたいと思い、現在では既に25%をクリアしております。なお、次年度の6月にバトンタッチする時には50%にまで引き上げたいと考えております。

最後に柔軟性の正しい理解について説明したいと思います。2016年の規定審議会について、皆さんはご存知だと思いますが改めてお話しします。日本に憲法など様々な法律がある様に、ロータリーも120万人の会員が世界にいる中で、国際ロータリーにもそれなりに決め事があります。それに対して3年ごとに規定審議会が行われます。3年の間に世界各国のロータリーの会員の方から「この項目は修正した方が良いのではないか」「この条文を追加した方が良いのではないか」など多くの意見を募り、それを地区ごとにまとめ規定審議会の場に上程いたします。直近では2016年に開催されました。何故2016年の規定審議会がクローズアップされているのかと言いますと、この年の規定審議会ではロータリー内部の決め事について、様々な改革が行われたからです。一番分かりやすい例を挙げると、例会数を月2回以上開催する事です。そうすると、月1回ではまずいけれども、2回以上であれば毎週開催してもいいし、月に10回開催しても構わないという事になります。一つの見方として、ロータリーの条文で柔軟性という言葉を使っているが、ロータリーとしての権限や権威はどこへ行ってしまったのかという意見もあろうかと思えます。私の意見を申し上げますと、この条文は決して密室の中で決まったものではなく、規定審議会において世界中の代表者の方々にしっかり審議していただき、評決を取っていただいたものです。ですから、その結果については真摯に受け止めなければならないと思います。2016年の規定審議会の条文を見ると、必ず最後の部分で「しかしながら各クラブの総意で月2回以上の例会を開催していただけるのであれば、自分たちで細則を自由に変更し、より良いクラブ作りを進めて下さい」という文言が記載されています。ですから、私は2016年の規定審議会に変更された内容については、逆にクラブを良くしていく為のチャンスだと思います。柔軟性を導入するか否かは各クラブで議論・検討する訳ですから、クラブが非常に活性化します。クラブを良くする為に自分の意見を述べ、他人の意見を聞いて一つにまとめる事でクラブは前進していきます。大事な事は、柔軟性の導入についてはクラブの自主性においてクラブの総意で決定する事、そして導入によって成果が出なければ意味が無いという事です。柔軟性について良く理解した上で取組んでいただきたいと思えます。

ご清聴いただき、ありがとうございました。

<閉 会> 13:30 小林 会長

週報担当 吉田 啓司